

## 防犯意識を高めましょう

新型コロナウイルス感染拡大により臨時休校となった一昨年、留守番をしていた子どもが侵入してきた泥棒と鉢合わせる事件が愛知県内で発生しました。不審者から身を守るためにはどうしたらいいのか、クイズを通して親子で話し合い、防犯意識を高めましょう。



### 防犯クイズ 子ども編

問題 一人で留守番をしていたら、インターホンが鳴り知らない大人があなたの名前を呼んでいるよ。さて、どうする？

- ①名前を知っているから知り合いかもしれないので、玄関のドアを開ける
- ②インターホンに出て、親が家にいないことを伝える
- ③インターホンには出ない

#### 答え③

泥棒は、家に人がいないか、わざとインターホンを鳴らすこともあります。また郵便物などで子どもの名前を調べて呼ぶ場合もあります。テレビや電気はつけたままにして、インターホンに出ないようにしましょう。そして、電話やメールを使って家族に不審者のことを伝えましょう。ドアや窓に二重ロックをしておく、さらに安心です。

### 防犯クイズ 大人編

問題 空き巣などの住居侵入で、犯人が室内を物色する時間と、犯人の90%以上が犯行を諦めるとされる、侵入までにかかる時間の正しい組み合わせはどれでしょう？

- ①室内を物色する時間…5分以内  
侵入を諦める時間……10分以上
- ②室内を物色する時間…10分以内  
侵入を諦める時間……20分以上
- ③室内を物色する時間…15分以内  
侵入を諦める時間……30分以上

#### 答え①

住宅侵入で最も被害が多いのは、不在になりがちな午前10時から午後4時までです。しかし住宅侵入盗の3割近くが、在宅中であっても家の中に入り込む手口です。ドアや窓を二重ロックにしたり、窓に防犯フィルムを貼るなどの侵入を諦めさせる工夫も必要です。

## 不審者に遭遇したら…

もし不審者に遭遇してしまったら、走って逃げる、大声で助けを呼ぶ、防犯ブザーを鳴らすなどの抵抗をしましょう。子どもが何らかの抵抗をとった場合、不審者の約7割がその場から逃げたり立ち去ったりしています。反対に子どもが会話をしたり、立ち止まってしまった場合、不審者から体を触られたり、叩かれるなどの被害に遭う割合は高くなります。



## 親子での約束ごとを決めておこう

- 緊急時にはまず逃げる。そのあと110番通報する
- インターホンが鳴っても出ない
- 在宅中でも玄関・窓の鍵を確実に閉める
- 日頃から逃げ道や身をひそめる場所を話し合う
- 人通りの少ない道は、暗くなったら通らない
- 出掛けるときは帰宅時間と、誰とどこへ行くのか必ず伝える
- 登下校のときや公園に行くときは、防犯ブザーを持って行く
- 助けを求めることができそうな場所を把握しておく